

自分のまちへの想いの作り方 グループで行う場合の工夫点

公益社団法人 青森青年会議所

このスライドでは3つのプロセスを複数人のグループで行う場合により効果を高めるための工夫点をお示しします。

誰かと一緒にこのプロセスを実行する場合の参考になることができれば幸いです。

自分のまちについて考え行動する ひとになるプロセス

①自分のまちの資源と課題を洗い出す

②資源を活かす、または、課題を解決
するための企画を立案する

③企画を実現する

①自分のまちの資源と課題を洗い出す工夫点

- 複数で資源と課題を洗い出す場合は、ワークショップ形式でおこなうのが有効です。
 - 4～6人程度を1グループとして意見を出し合いましょう。
 - また、意見が出ないことが想定される場合は2人1組となりお互いにインタビューをすることが有効です。

②資源を活かす、または、課題を解決 するためにの企画を立案する 工夫点

- 企画を立案する際は、まずはたくさんのアイデアをだすことが重要です。ブレインストーミングという手法を用いグループでの議論を活性化させるのが有効です。



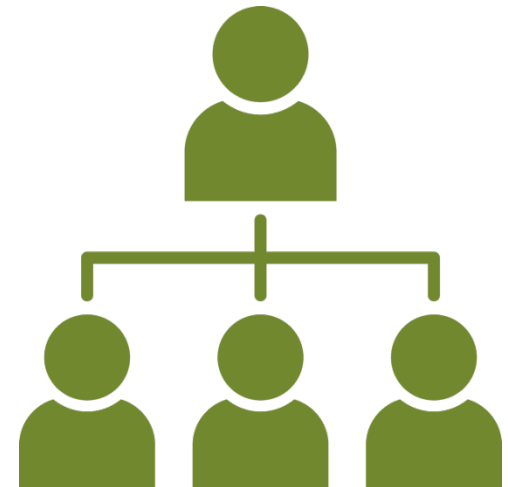
②資源を活かす、または、課題を解決 するための企画を立案する 工夫点

ブレインストーミングとは

1. グループ全員が見られる大きな紙を用意し意見をどんどん記載します。
2. さらに書かれた意見から思いつく意見を記載します。
3. 他社の意見を否定することはせず、若干趣旨とずれていることも許容し、楽しみながら考えを広げていく手法です。

③企画を実現する 工夫点

- 企画の実現のための組織をつくる
 - 組織をつくることで組織メンバーの結束力と責任感を高めることができます。また、組織の長、副長等役職者を決めると情報共有や意思決定がスムーズにおこないやすくなります。



③企画を実現する 工夫点

- 定期的に打ち合わせをおこなう
 - 関わる人の人数が増えれば増えるほど、情報共有は難しくなります。情報共有がうまくできていれば協力関係が築け、全員の力を最大限に発揮することができます。そのために定期的に打ち合わせをおこない進捗状況を報告し合うことが大切です。



③企画を実現する 工夫点

- 役割分担をする
 - 企画が規模が大きくなればなるほど、たくさん的人是いても全員でいっしょにすべてのことを考えていると前に進まなくなります。企画を細分化し、班分けをおこなうことで、企画の実現に向けた動きがスピーディーになり、責任感を生み出すことができます。

③企画を実現する 工夫点

- 企画の対象を明確にする
 - 企画のターゲットを幅広くしすぎると、結果として企画は特徴のないものになってしまう場合があります。例えば、子供を対象にするなど、対象を明確にすることで、より効果的な企画を実現することができます。



③企画を実現する 工夫点

- まちの取組みとつながりをもたせる
 - まちには継続しておこなわれてきた行事や文化などが必ず存在します。まちの取組みとつながりをもたせることを意識することで、多くの住民に受け入れられやすく、企画自体の継続性を増加させることができます。

